

「2027年国際園芸博覧会 ライセンス運営管理業務」の
プロポーザルに係る提案書評価基準

表1の評価項目及び配点ウエイトのもと、評価を行います。

各評価項目の評価の着目点は表2のとおりとします。

表1 基本的事項

評価項目 (配点)	評価の着目点		配点	評価	評価点
業務実施体制 (60点)	管理技術者	過去の同種又は類似の業務の実績の内容	30		
	担当技術者	過去の同種又は類似の業務の実績の内容	30		
提案内容 (135点)	ア ライセンス運営管理業務全体に関する戦略及び運営計画・業務実施体制 ・園芸博の特性を理解した提案であるか ・戦略的な計画・実施体制であるか ・透明性・公正性が確保された運営計画・実施体制であるか ・ライセンス運営管理業務全体のリスク分析と対応策が検討されているか ・実現性のある提案内容であるか		30		
	イ 公式ロゴマークや公式マスコットキャラクター等（以下「協会 IP」という。）を使用した商品に関する戦略及び計画 ・園芸博の特性を捉えた提案であるか ・トレンドや市場環境、動向を捉えた提案か ・魅力的な商品展開となっているか ・実現性のある提案内容であるか		15		
	ウ ライセンシーに関する戦略及び計画 ・ライセンシーとのネットワーク、取引実績が十分にあるか ・協会収入に寄与する内容となっているか ・協会事業として、透明性が高い制度設計となっているか ・実現性のある提案内容であるか		15		
	エ 広報・宣伝・販売促進活動に関する戦略及び計画 ・協会 IP のブランド価値を高める提案か ・園芸博の機運を高めるとともに、販売促進に資する計画か ・実現性のある提案内容であるか		15		
	オ 販売所開拓・店舗運営管理(ECサイトを含む)に関する戦略及び計画 ・提案内容イ、エと連動が取れた効果的な計画か ・多様な層に展開できる計画か ・実現性のある提案内容であるか		15		
	カ 財務に関する計画 ・協会の収入事業として、高い収益性は見込まれるか ・提案内容ア～オと整合が取れた収支計画か ・実現性のある提案内容であるか		30		
	キ 当該事業における持続可能性への取組 ・持続可能性に配慮した戦略及び運営計画・業務実施体制か ・実現性のある提案内容であるか		15		
ヒアリング (24点)	理解力や専門技術力があるか		12		
	取り組み意欲が感じられるか		12		

ワーク・ライフ・バランスに関する取組等 (6点)	次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員101人未満の場合のみ加算）	1		
	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員301人未満の場合のみ加算）	1		
	次世代育成支援対策推進法に基づく認定（くるみんマーク）の取得、又は女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定（えるぼしマーク）の取得	1		
	青少年の雇用の促進等に関する法律に基づくユースエール認定の取得	1		
	障害者雇用促進法に基づく法定雇用率2.3%を達成している（従業員43.5人以上）、又は障害者を1人以上雇用している（従業員43.5人未満）	1		
	健康経営銘柄、健康経営優良法人（大規模法人・中小規模法人）の取得	1		
評価点の合計（225点）				

評価方法

- (1) 業務実施体制は、A、C、Eの3段階評価を行う。
- (2) 提案内容及びヒアリングは、A、B、C、D、Eの5段階評価を行う。
- (3) 提案内容の評価点については、次のように配点を行う。
 - ア 業務実施体制
配点30点：A=30点、C=18点、E=6点
 - イ 提案内容
配点30点：A=30点、B=24点、C=18点、D=12点、E=6点
配点15点：A=15点、B=12点、C=9点、D=6点、E=3点
 - ウ ヒアリング
配点12点：A=12点、B=9点、C=6点、D=3点、E=0点
 - エ ワーク・ライフ・バランスに関する取組等
各項目を1つ満たすごとに1点を加算する。
- (4) 提案内容及びヒアリングの評価項目において、E評価のあるものは原則として選定しない。
- (5) 評価点について最上位の者が2者以上同点となった場合には、評価委員会にて採択を行い、最上位を決定する。
- (6) 業務実績及びワーク・ライフ・バランスに関する取組等は、1者ごとに事務局が評価を行い、評価委員会で承認を行う。
- (7) 提案内容及びヒアリングは、1者ごとに各評価委員が評価を行う。
- (8) 業務実施体制、提案内容、ヒアリング及びワーク・ライフ・バランスに関する取組等の評価点の合計を評価委員全員分集計し、その合計点を当該提案者の評価結果とする。
- (9) 評価点は、評価委員1名につき満点で225点とし、評価委員全員の合計で1350点（225点×6人）満点とする。
- (10) 共同企業体を組成する場合、業務実績は、1者以上の構成員が条件に当てはまることで、該当していることとする。
- (11) 共同企業体を組成する場合、ワーク・ライフ・バランスに関する取組等は、代表者たる構成員が条件に当てはまることで、該当していることとする。

(12) 評価委員が欠席した際には、その委員の評価点は無効とし、委員会に出席した委員のみで評価を行う。

(13) ヒアリングを実施しなかった場合には、ヒアリングに関する評価はC（6点×2＝12点）とする。

表2 評価の視点

評価項目	評価の着目点	評価				
		A	B	C	D	E
業務実施体制	管理技術者 過去の同種または類似業務の実績の内容	本業務に活かせる実績が十分にある		本業務に活かせる実績がある		本業務に活かせる実績がない
	担当技術者 過去の同種または類似業務の実績の内容	本業務に活かせる実績が十分にある		本業務に活かせる実績がある		本業務に活かせる実績がない
提案内容	アの提案について ・園芸博の特性を理解した提案であるか ・戦略的な計画・実施体制であるか ・透明性・公正性が確保された運営計画・実施体制であるか ・ライセンス運営管理業務全体のリスク分析と対応策が検討されているか ・実現性のある提案内容であるか	特に優れている	優れている	どちらともいえない	やや劣っている	劣っている
	イの提案について ・園芸博の特性を捉えた提案であるか ・トレンドや市場環境、動向を捉えた提案か ・魅力的な商品展開となっているか ・実現性のある提案内容であるか	特に優れている	優れている	どちらともいえない	やや劣っている	劣っている

	<p>ウの提案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライセンサーとのネットワーク、取引実績が十分にあるか ・協会収入に寄与する内容となっているか ・協会事業として、透明性が高い制度設計となっているか ・実現性のある提案内容であるか 	特に優れている	優れている	どちらともいえない	やや劣っている	劣っている
	<p>エの提案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協会 IP のブランド価値を高める提案か ・園芸博の機運を高めるとともに、販売促進に資する計画か ・実現性のある提案内容であるか 	特に優れている	優れている	どちらともいえない	やや劣っている	劣っている
	<p>オの提案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案内容イ、エと連動が取れた効果的な計画か ・多様な層に展開できる計画か ・実現性のある提案内容であるか 	特に優れている	優れている	どちらともいえない	やや劣っている	劣っている
	<p>カの提案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協会の収入事業として、高い収益性は見込まれるか ・提案内容ア～オと整合が取れた収支計画か ・実現性のある提案内容であるか 	特に優れている	優れている	どちらともいえない	やや劣っている	劣っている
	<p>キの提案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能性に配慮した戦略及び運営計画・業務実施体制か ・実現性のある提案内容であるか 	特に優れている	優れている	どちらともいえない	やや劣っている	劣っている
ヒアリング	理解力や専門技術力があるか	特に優れている	優れている	どちらともいえない	あまり妥当ではない	妥当ではない
	取り組み意欲が感じられるか	強い意欲が認められる	意欲が認められる	どちらともいえない	あまり意欲が認められない	意欲が認められない